

講義名	社会保障論		
科目区分	教養科目		
担当教員	中島 孝子		
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限	授業形態	
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 福祉マネジメントコース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービス心理コース / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 スポーツ健康マネジメント / 2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 サービスマーケティング / 2014年度 サービス産業学部		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

社会保障制度の中で、医療保障、民間保険、社会福祉、および社会手当制度に焦点をあて、これらの項目に関する日本の制度の基本的事項を確認し、それらの問題点を学習します。社会保障論I(上瀬真生先生担当)とあわせて受講することによって、社会保障論の基本的事項を身につけることを目指します。

到達目標

保険の仕組みおよび民間保険の概要、課題について理解する。
医療保険制度の考え方や概要、課題について理解する。
介護保険制度の考え方や概要、課題について理解する。
社会福祉制度と社会手当制度の考え方や概要、課題について理解する。

提出課題

提出課題として、小テストと課題を課します。詳細は授業中に指示します。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック

課題提出後、解説や講評を行います。

評価の基準

成績は100点満点で評価し60点以上が合格です。
配分は課題70%、平常点30%です。
昨年度は履修登録者の83%が定期試験を受験し、その92%が合格しました。

履修にあたっての注意・助言他

社会保障論Iを履修していることが望まれます。
この科目では、同時双方の連隔授業を基本に、課題学修を組み合わせで授業を行います。

教科書

・「社会福祉学習双書2020 6 社会保障論」、 「社会福祉学習双書」編集委員会 / 編 全国社会福祉協議 会 ¥2400

プリント資料及び参考文献

授業ではプリント資料を配布します。以下は、教科書の他に、本科目における学習や理解において有用な文献です。
椋野美智子・田中耕太郎「はじめての社会保障(第17版)」有斐閣 2020年

授業計画

- 1 公的保険と民間保険(第5章) (1) 現代社会と保険制度
- 2 公的保険と民間保険(第5章) (2) 所得保障と企業年金・個人年金
- 3 公的保険と民間保険(第5章) (3) 生活リスクと民間保険の役割
- 4 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (1) 医療保障制度の沿革と近年の改革
- 5 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (2) 医療保障制度の種類
- 6 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (3) 医療保障制度の給付
- 7 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (4) 医療保障制度
- 8 医療保障制度の概要と具体的内容(第7章) (5) 医療提供体制と国民医療費
- 9 介護保険制度の概要(第8章) (1) 介護保険制度の創設と意義
- 10 介護保険制度の概要(第8章) (2) 介護保険制度の内容
- 11 介護保険制度の概要(第8章) (3) 介護保険制度の課題
- 12 社会福祉制度の概要(第10章) (1) 社会福祉制度の概要
- 13 社会福祉制度の概要(第10章) (2) 生活保護制度の概要
- 14 社会手当制度の概要(第11章) (1) 社会手当の意義
- 15 社会手当制度の概要(第11章) (2) 児童扶養手当

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア：PBL(課題解決型学習)
イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート
エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション
カ：実習、フィールドワーク

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

毎回の授業後、次回までに復習をしてください。
テキストを使って事前に予習することを推奨します。
予習と復習をあわせ、1回の授業で4時間が目安です。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中のアンケートや課題の提出などにレスポンスを使用します。

実務経験の有無及び活用

備考